



2019年度習志野市決算

子育て支援、 障がい福祉等が増加

台風の季節が終わり、街路樹も秋らしい色彩に変わってまいりました。朝晩、少し寒くなりましたね。今年は、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、市民のみなさんには十分な体調管理をお願い致します。

さて、習志野市議会は、9月定例会が終了し、10月8日から10月13日まで「2019年度会計決算特別委員会」を開催しました。

今年2020年3月以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、我が国の経済は極めて厳しい状況にあります。こうした中、習志野市の2019年度一般会計決算の状況を見ますと、歳入においては、自主財源の根幹である市税収入は、緩やかな景気回復や転入による納税義務者の増加などから、増収。一方、歳出においては、子育て支援、障がい福祉などの扶助費が増加、公共施設再生の取組などが展開されました。

【歳出決算額】

一般会計：644億7,866万円

対前年度比8,7%増加

特別会計：264億7,539万円

対前年度比15,5%減少（下水道事業を公営企業へ移行したため）

主な執行状況を、5点申し上げます。

(1) 未来をひらく教育と生涯にわたる学びの推進

- ・小中学校の全普通学級にエアコン設置
- ・大久保小学校建替工事に向けた設計
- ・谷津小学校全面改築工事
- ・自閉症・情緒障がい特別支援学級を開設
- ・第六中へ、知的障がい特別支援学級の開設準備
- ・小中学校校内ネットワークの整備
- ・小中学校トイレ改修工事
- ・大久保地区公共施設再生事業による生涯学習複合施設「プラッツ習志野」を開設。



(2) 子どもが健やかに育つ環境の整備

- ・市立幼稚園の全保育室にエアコン設置
- ・待機児童の解消を目指す
- ・民間認可保育所の整備

財政指標の他市との比較（2019年度決算）

区 分	習志野市	市川市	松戸市	八千代市	千葉市	船橋市
財政力指数	0,95	1,08	0,90	0,95	0,931	0,960
実質収支比率（％）	5,3	3,0	6,6	4,0	2,4	2,3
経常収支比率（％）	97,9	91,6	94,2	97,3	98,5	96,1
実質公債費比率（％）	8,1	1,6	0,6	6,4	12,9	0,7
将来負担比率（％）	25,1	-	-	21,0	138,3	24,1

【解説】

財政力指数：基準財政収入額を基準財政需要額で除した数値の、過去3年の平均値。指数が高いほど自主財源の割合が高い。1を超える団体は、普通地方交付税の交付を受けない。

実質収支比率：実質収支額を標準財政規模で除して得られる比率。おおむね、3～5%程度が望ましいと言われているが、一概には決められない。

経常収支比率：経常的経費に経常一般財源収入がどの程度充当されているかを見るものであり、比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表す。

実質公債費比率：地方自治体における一般財源の規模に対する実質的な借金の比率

将来負担比率：将来支払っていく可能性のある負担の現時点での残高を指標化したもの。早期健全化基準（健全化が求められる）は350%とされている。

お知らせ

- ・小規模保育事業の誘致
- ・放課後児童会を増設
- ・「子ども・子育て支援事業計画」、「こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画」の策定
- ・国の幼児教育保育の無償化に対応
- (3) 誰もが健康を維持できる保健・医療・福祉の充実
 - ・受動喫煙防止条例の周知を図る
 - ・40歳から75歳までの女性を対象の「骨粗しょう症健診を導入
- (4) 公共施設等への取組
 - ・大久保地区公共施設再生事業の取組
 - ・新消防庁舎建設工事
 - ・旧庁舎解体工事
 - ・東習志野コミュニティセンターの改修
- (5) 財政健全化の推進
 - ・データ入力など定型的な業務に自動化を試験導入し、検証

以上。

市民集会「オスプレイ いらない！」

日にち： 11月7日(土)

場所： 船橋市 薬円台公園ステージ広場



陸上自衛隊木更津基地に「オスプレイ」が配備されました。11月以降に、習志野・八千代・船橋3市の上空を飛行すると言われていています。飛行予定経路は、学校・病院・工場その他、住宅密集地の上空です。危険です！「オスプレイいらない！」の声を一緒に上げましょう！